

母子生活支援施設に係るハンドブックの作成について

1 作成の目的

東京都ひとり親家庭自立支援計画（第4期）の記載内容及び都内母子生活支援施設の現状を踏まえ、「施設の高機能化及び多機能化」「関係機関との連携強化」に着目したハンドブックを作成し、第5期計画を通じて取組を進めていくことで、地域の子育て支援の資源としての役割を強化していく。

2 ハンドブックの概要（案）

（1）施設の高機能化及び多機能化＜主に施設向け＞

- ・ 先行事例を施設に取材して紹介する内容とする。
- ・ 施設と地域の現状把握、実施に必要な体制構築、関係機関との調整、検討段階から実現までのスケジュール等、実施に向けた事務的なノウハウの紹介に力点を置く。

【高機能化の例】

- ・ 障害を抱える利用者への対応強化（特別生活指導員、障害児等受入態勢等強化事業）
- ・ アフターケア機能の充実（自立支援担当職員）

【多機能化の例】

- ・ 母子一体型ショートケア事業
- ・ ひとり親家庭地域生活支援事業（ミドルステイを含む）
- ・ 予防的支援、その他の地域連携事業

（2）関係機関との連携強化＜主に自治体職員向け＞

- ・ 児童相談所の職員等、母子生活支援施設の直接の担当ではない職員を主なターゲットとし、施設の概要と活用するメリットが分かりやすい簡潔な内容とする。
- ・ 令和6年度に拡充された「ひとり親家庭地域生活支援事業」のいわゆるミドルステイなど、施設の現在の機能や役割を伝えるものとする。

3 スケジュール等

- ・ 年内に施設への取材を行い、令和6年度中に完成、周知
- ・ 令和7年度より、母子福祉部会等と連携し、高機能化、多機能化に取り組む施設を支援

<参考：母子生活支援施設に関する第4期計画の記載内容>

- 複雑化し、より困難な課題を有する母と子それぞれに、またひとつの家庭としての母子に対し、それぞれのニーズに応じた自立を支援していきます。
- 地域で生活する母子の安定した暮らしを支援するため、母子瀬地活支援施設の支援力を生かす施設の高機能化を支援します。
- 母子生活支援施設の広域利用を促進し、DV等の課題を有する母子家庭の自立を支援するとともに、入所率の向上を図ります。